

## 冗談じゃないぞ！ こんな理由でボーナスカット 労働審判で明らかになる

不当なボーナスカットの撤回を求めて二回にわたって行われた労働審判で、会社はボーナスカットの理由をあきらかにしました。いずれも管理者が指摘し報告した事象です。

東京車両所OBの中村さんのボーナスカット事由は、たとえば「機器の検査時に手袋のままグランドスイッチを扱った」「増圧カバーと取り付けボルトの検査失念」「側カウルの後確認を失念した」などというものです。その中には検査をちゃんと行っているのに管理者の勝手な思い込みで「失念」とされた事象もあります。

また東京第一運転所の剣持さんのボーナスカット事由は、喚呼用語の「電車線電圧」を「架線電圧」と言い間違えたとか、「運転整備時に機器に指が接触してなかった」などというものです。

「電車線電圧」と「架線電圧」は同じ意味です。単に言葉が違うというだけでボーナスカットがされているのです。確認喚呼を行っているのに「指が接触していない」だけでボーナスカットされているのです。いいがかりそのものです。

何でこんなふざけた理由でボーナスをカットされなければいけないのでしょうか。六ヶ月にわたる査定期間のなかで、何百回何千回と確認・喚呼を行ってきている中でわずか十回だけです。あらさがし、カットのための理由づくりでしかないことはあきらかです。

不当なボーナスカットをゆるさないため、職場からさらに闘いましょう！